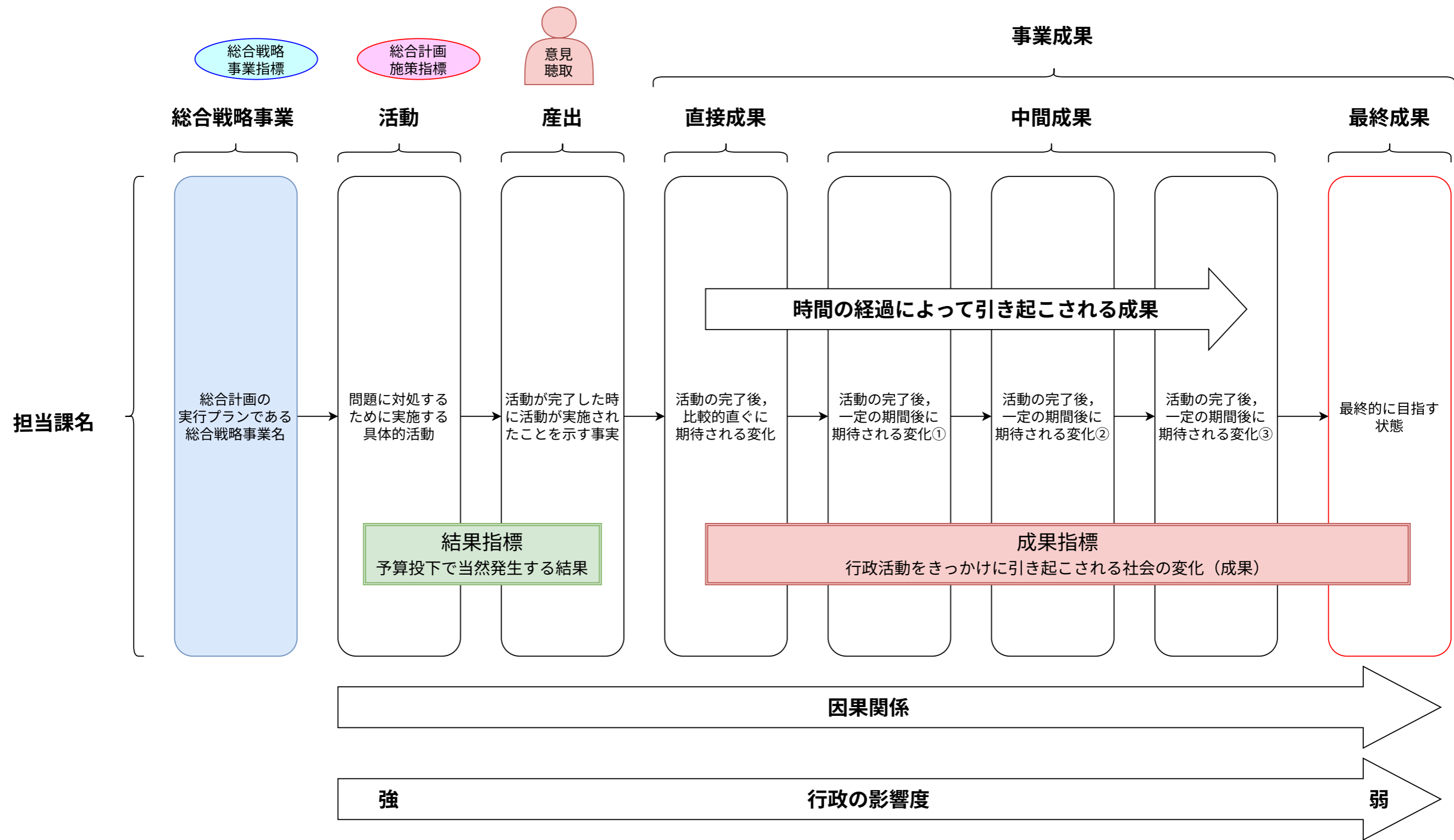


令和7年度

各部選定 重点施策ロジックモデル

【中間面談による実施】



政策形成能力の養成

現在の行為が将来に対してどのような結果や影響を及ぼしていくのかの検討（仮説の因果関係・ロードマップ・ストーリーの見える化）

適切な成果指標の導出

結果と成果を明確に区別し、どのタイミングで何をモニターすることが適切なのを見極める

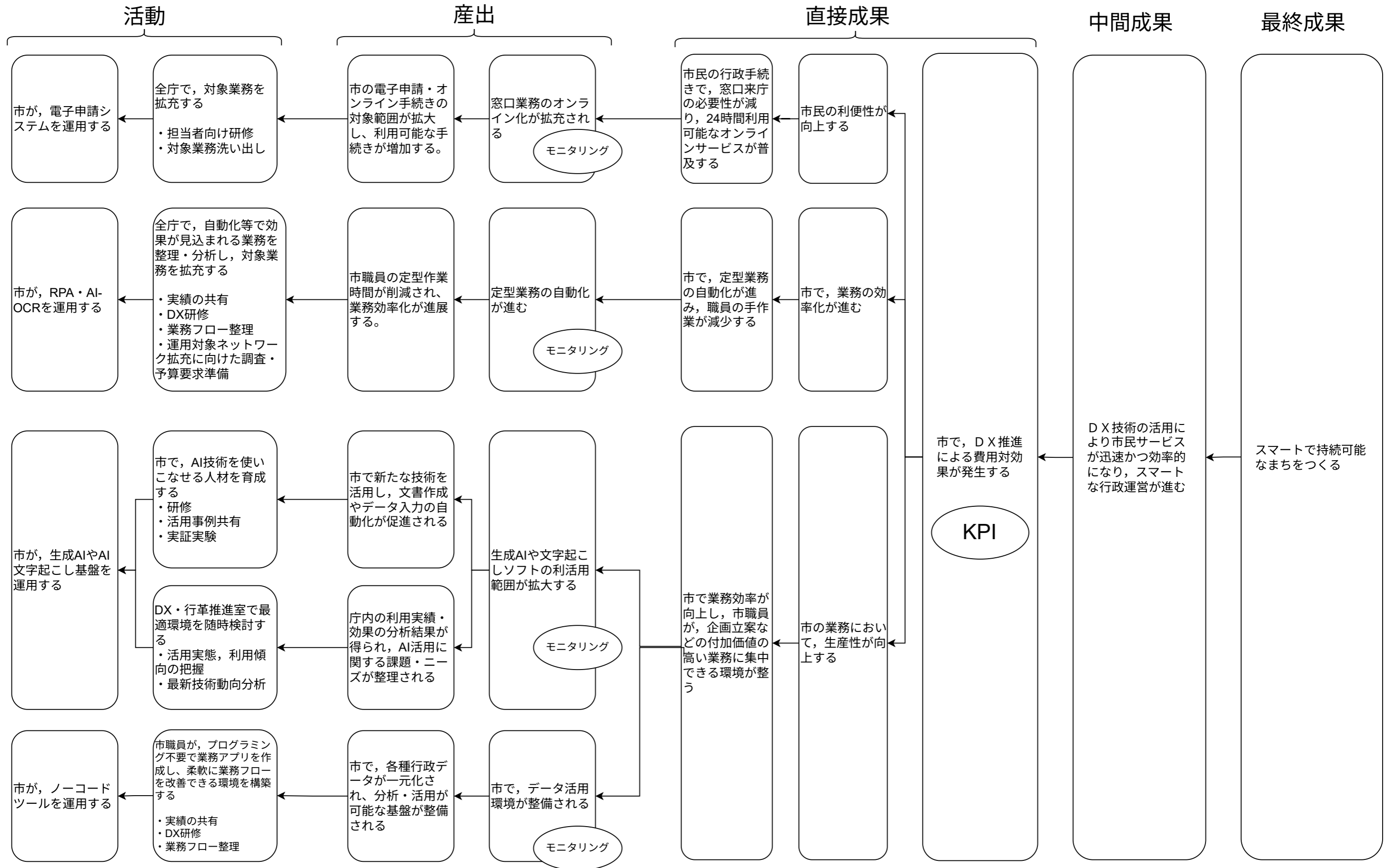
事業の有効性評価

事業の実施前に、どのような成果が見込まれるかを検討し、事業の実施後に期待された成果が実際に得られたかを検証する

コミュニケーションツール

庁内だけではなく、様々なステークホルダーと情報交換し、共通認識を得て、進捗管理を行っていくツールとしての活用

DXの推進



【投資リスト】

単位：千円

運用基盤	R6年度決算	R7年度予算	R8年度予算
Logoフォーム	2,020	2,204	2,204
RPA	2,640	2,926	4,488
AI-OCR	1,320	1,320	1,320
生成AI（汎用）	192	480	1,910
◎市専用生成AI	—	2,640→0	—
◎Gamma	—	27	27
Kintone	418	760	1,062
文字起こし	1,331	1,452	1,452

モニタリング
指標

分類	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 目標
電子申請採用手続数	372手続	192手続	310手続	345手続
電子申請申請者	4,687件	22,920件	17,417件	20,000件
RPA活用業務数	5業務	2業務	3課3業務	5業務
AI-OCR活用業務数	2業務	8業務	5課11業務	12業務
生成AI利用可能者	—	27人 (WT実証)	45人 (利用申請者)	137人 (455×30%)
Kintone生成アプリ数	—	6件 (トライアル)	14件	50件

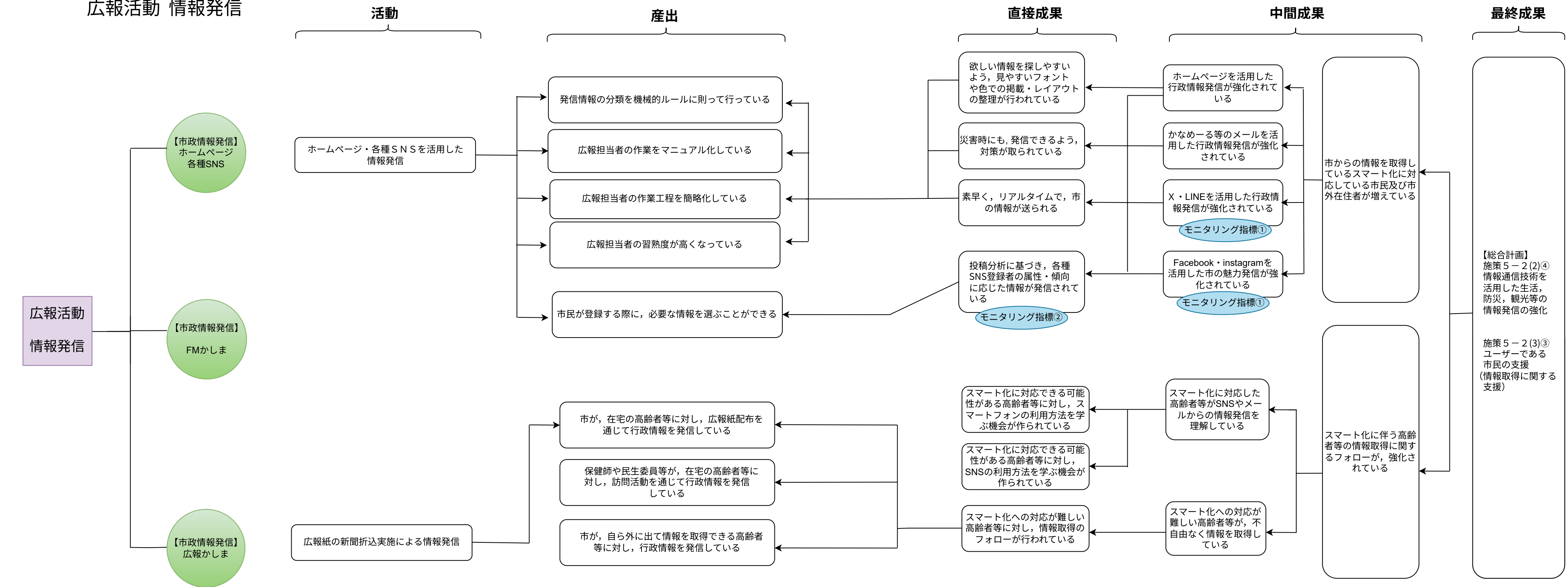
KPI

分類	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和7年度)
電子申請による 時間削減効果	△1,779時間	△1,980時間
RPA活用による 時間削減効果	△701時間	△1,100時間
AI-OCR活用による 時間削減効果	△216時間	△297時間
生成AI活用による 時間削減効果	△744時間	△2,200時間

施策1-2 多様なライフスタイルを応援する
 施策の方向性 多様な働き方・暮らし方の実現
 取組み 多様な交流・かかわりの創出

政策企画部 重点施策ロジックモデル

広報活動 情報発信

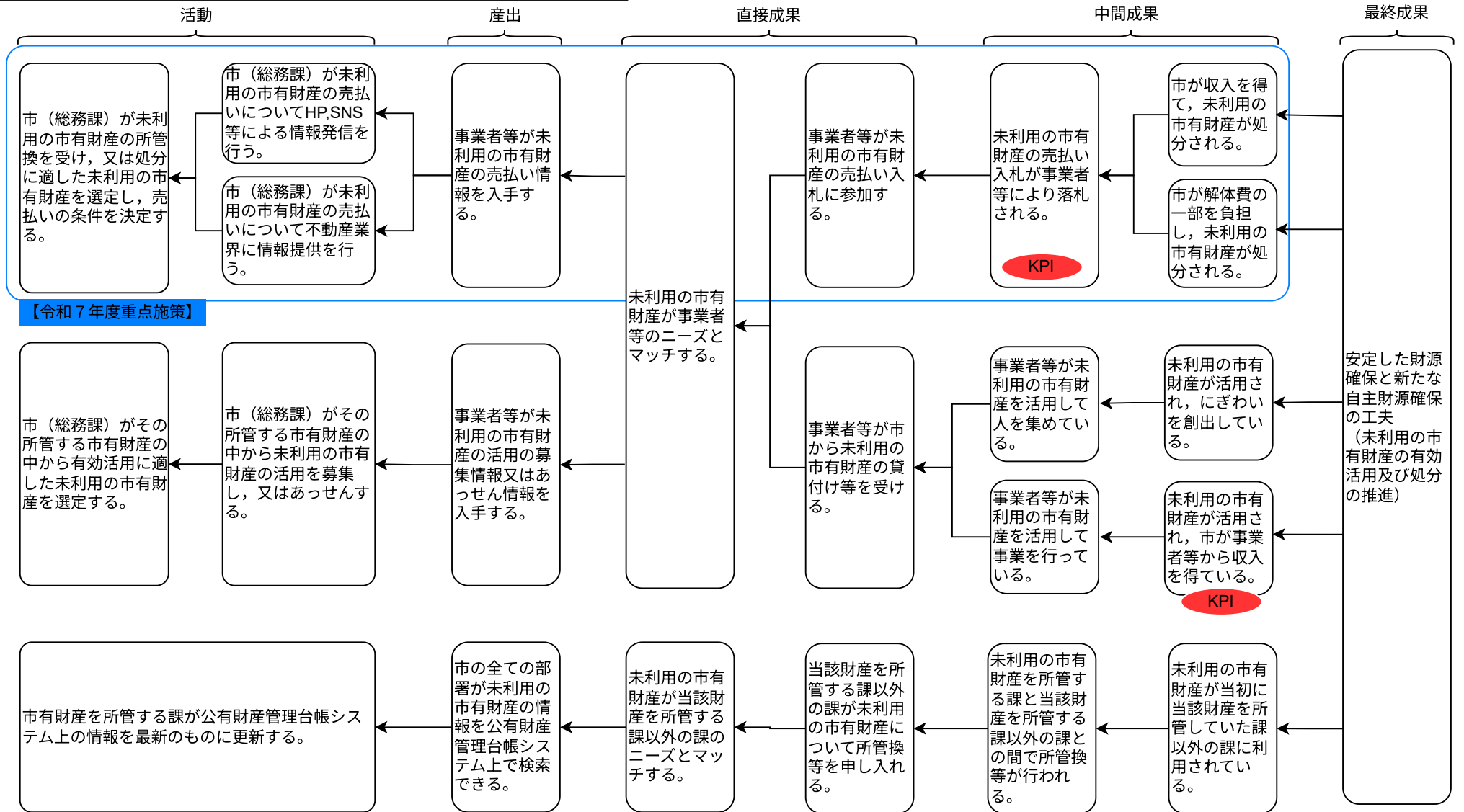


指標名	2021年度末	2023年度末	目標値	指標
人口の社会増数	-155人/年	1人/年	110人/年 (2031年度末)	施策指標
SNS等フォロワー数	40,000人	56,385人	60,000人 (2026年度末)	KPI (事業指標)
各種SNS (LINE, インスタ, フェイスブック, X) 閲覧数			1,240,000件/年 (2026年度末)	モニタリング指標①
各種SNS (LINE, インスタ, フェイスブック, X) 情報発信回数			430回/年 (2026年度末)	モニタリング指標②

施策5-2 スマートで持続可能なまちをつくる

施策の方向性 (1) 持続可能な財政運営

③ 安定した財源確保と新たな自主財源確保の工夫



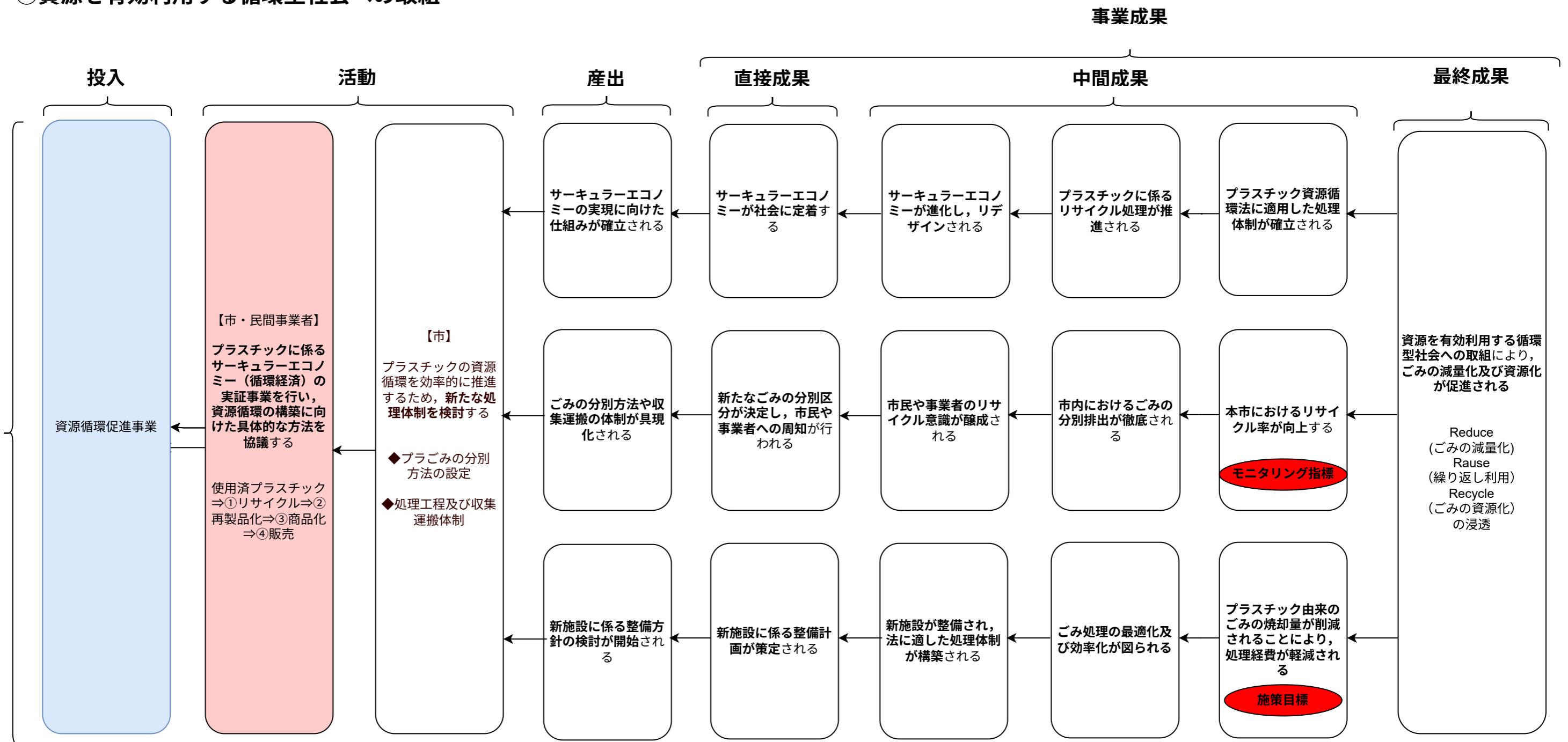
指標	現状値 (2023年度)	目標値 (2025年度)
総務課へ所管換となった未利用の市有財産の翌々年度までの売払い入札の落札割合(2024年度~)	-	50%
未利用の市有財産の活用による収入 (庁舎駐車場へのキッチンカー等の出店)	0円	611,880円

施策4-3 豊かな鹿嶋の海や緑を未来へつなぐ

施策の方向性 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり

取組 ②資源を有効利用する循環型社会への取組

廃棄物対策課



指 標		
現状値→目標値	現状値	目標値
施策目標（目標：2034年度）	1人1日あたりごみ発生量 922g/人日（2022年度）	795g/人日
モニタリング指標（目標：※注記参照）	リサイクル率 53.91%（2023年度）	※注記参照

サーキュラーエコノミー

サーキュラーエコノミー（循環経済）とは、従来の3Rの取組に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動であり、資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑止等を指すものです。

※モニタリング指標に関する注記

鹿嶋共同可燃ごみクリーンセンターの稼働に伴い処理方式が変更となったため、リサイクル率が大幅に低減する見込みである。

目標年度及び目標値については、新施設に係る整備方針（時期や処理方式等）が決定した上で「鹿嶋市一般廃棄物処理基本計画」の見直しと併せ、直近の実績値（現状値）を参考に改めて設定する。

なお、令和8年度は、新施設整備に係る基本計画の策定を目標とする。

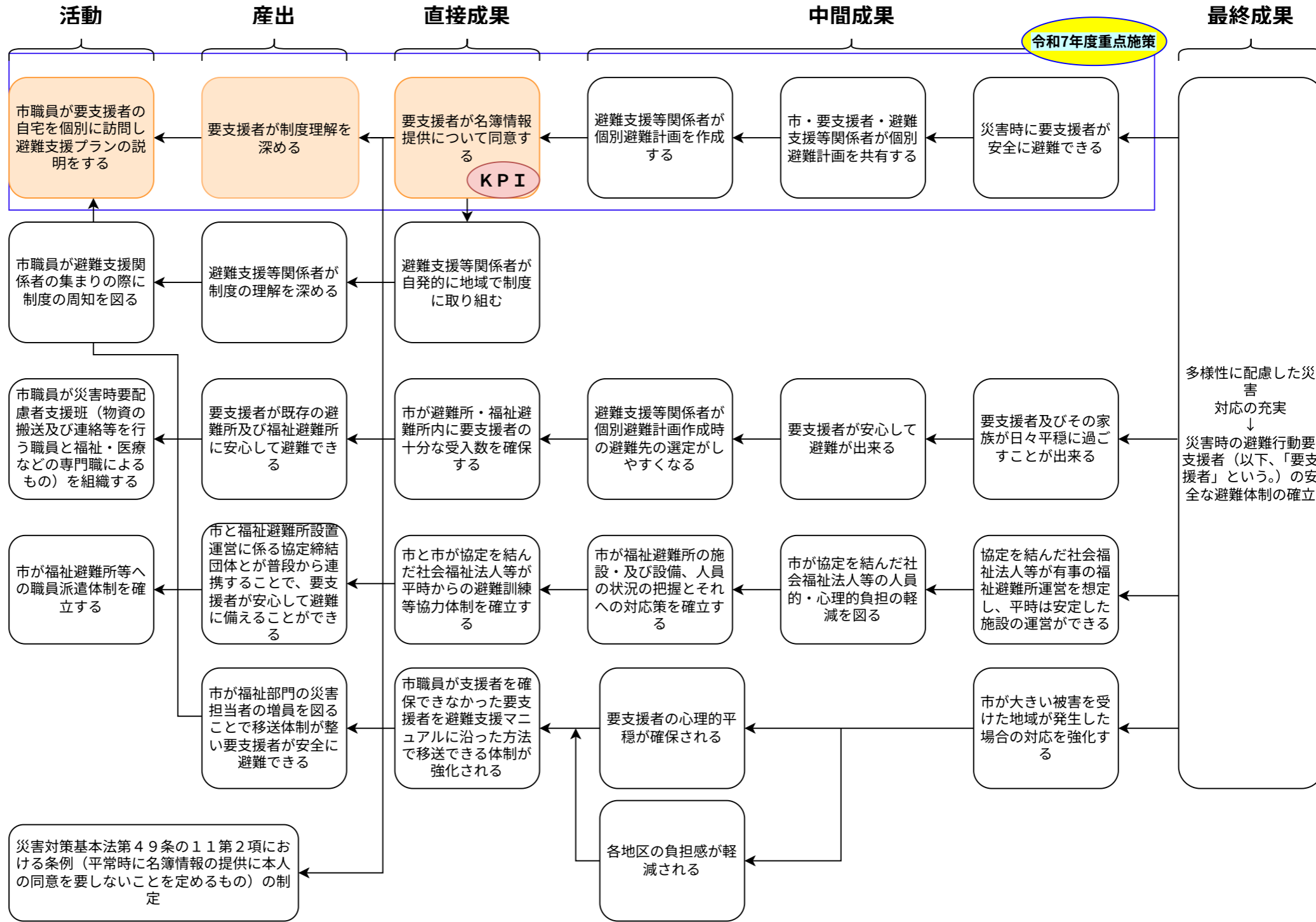
施策5-1 コンパクトで安全なまちをつくる
 施策の方向性 (3) 災害に強いまちづくり
 ④多様性に配慮した災害対応の充実

事業成果

生活福祉課

総合戦略事業

施策5-1コンパクトで安全なまちをつくる
 (3) 災害に強いまちづくり



KPI

指標	目標値	2026年3月	現状値	2024年11月末
ハザード内要支援者のうち実態調査により自主的に避難が可能と判明した方を除いた方々の同意書の提出率		60人		33人
		100%		55%

KPI
 避難行動要支援者のうち浸水想定区域及び土砂災害警戒区域内に居住する要支援者116人のうち
 → 実態調査により家族の協力がある場合や自主的に避難が可能と判明した方をのぞいた60人の
 情報提供同意書と個別避難計画の提出率100%とする。
 ※今後、津波ハザード区域、停電時の要支援者については、並行して取り組む予定。

指標	目標値	2026年3月	現状値	2025年11月末
津波ハザード内要支援者の同意書提出率		98人		18人
		100%		18%

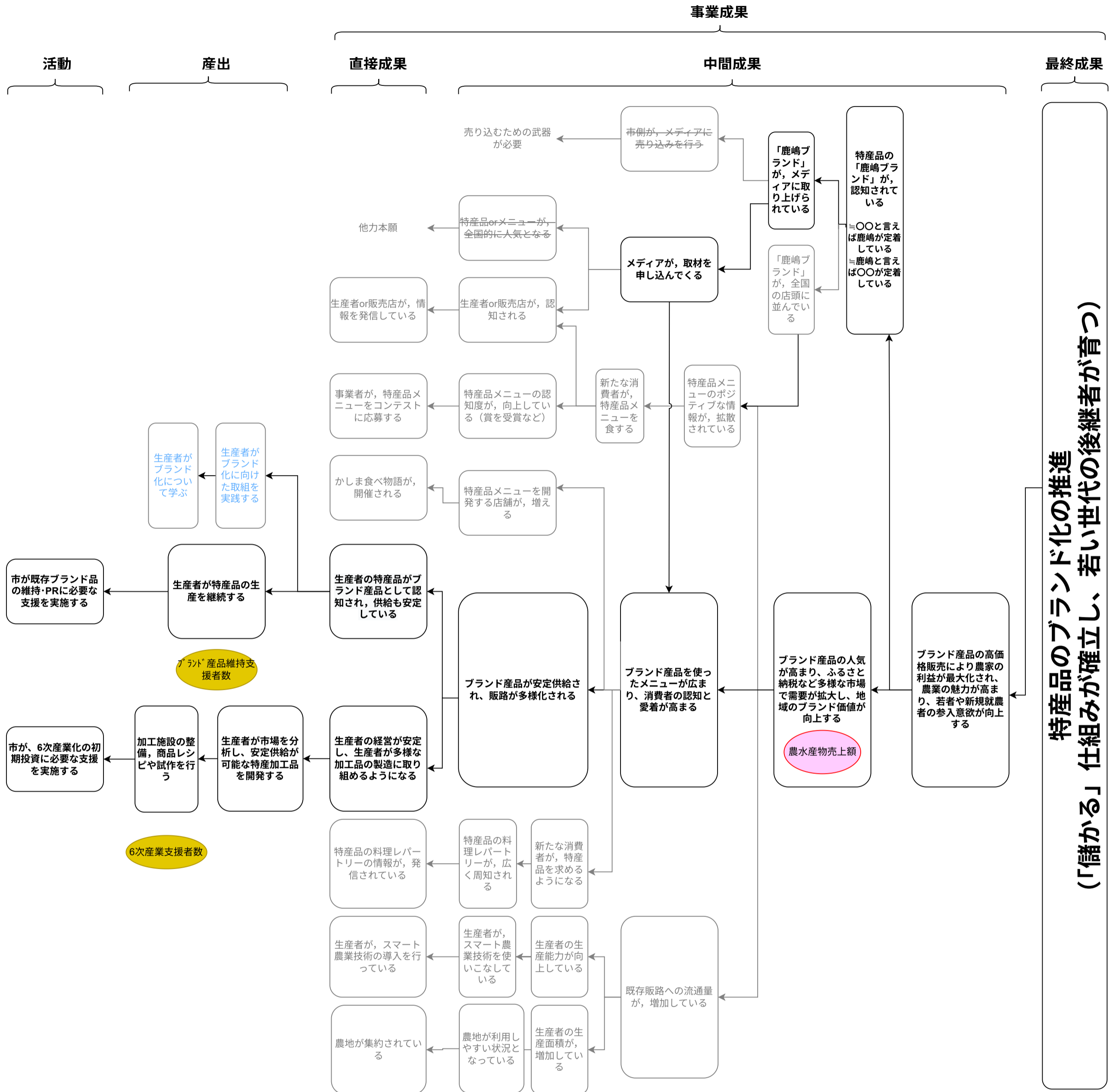
KPI
 避難行動要支援者のうち浸水想定区域及び土砂災害警戒区域は、事前に予測できる災害であるため、家族の協力がある方等は対象から除いたが、津波想定区域については、予測が不可能な災害であるため、名簿登録者すべてを対象とした。

施策4-1 既存産業のチャレンジを応援する

施策の方向性 (2) 農水産業のチャレンジ促進
取組 ④ 特産品のブランド化の推進

※漁業の場合は

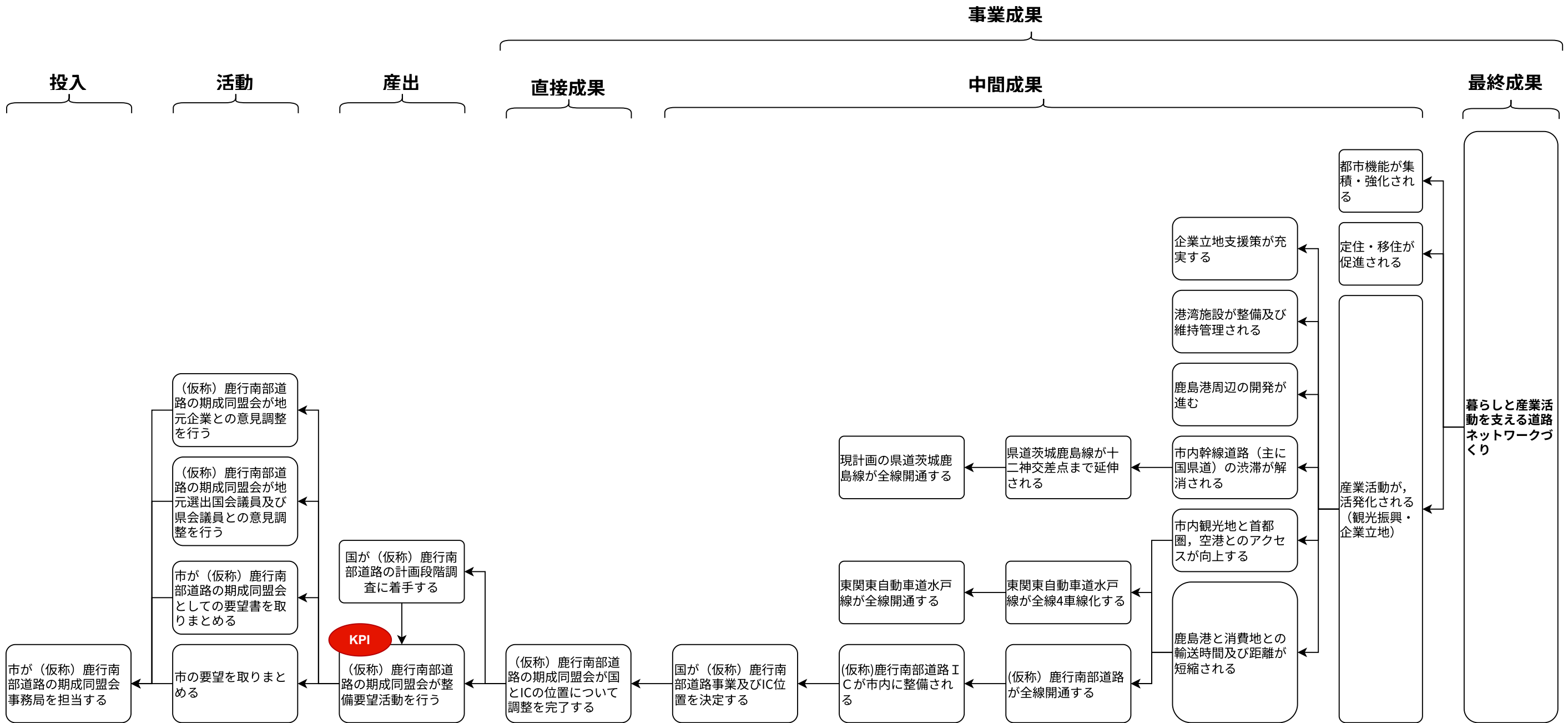
「生産者」→「漁業者」、「生産量」→「漁獲量」、「生産能力」→「漁獲能力」と読み替える



指標			
現状値 → 目標値		現状値 (2021年度末)	目標値
施策指標 (目標: 2031年度)	農水産物売上額	2,200百万円/年	2,400百万円/年
モニタリング指標 (目標: 2029年度)	ブランド 産品維持支援者数	0件	3件
モニタリング指標 (目標: 2029年度)	6次産業支援者数	0件	2件

施策5-1 コンパクトで安全なまちをつくる
 施策の方向性 (2) 効率的・効果的なネットワークづくり
 取組み① 暮らしと産業活動を支える道路ネットワークづくり

(仮称) 鹿行南部道路計画の鹿嶋経過地の実現



指標					
現状値 → 目標値		指標	2021年度末	現状値：2025年9月末	目標値
事業指標 (目標年度：2026年度)	期成同盟会の活動（要望，総会など）	KPI	—	2回／6か月	4回／年

施策5-1 コンパクトで安全なまちをつくる

施策の方向性 (2) 効率的・効果的なネットワークづくり

取組み① 暮らしと産業活動を支える道路ネットワークづくり

市道の維持管理



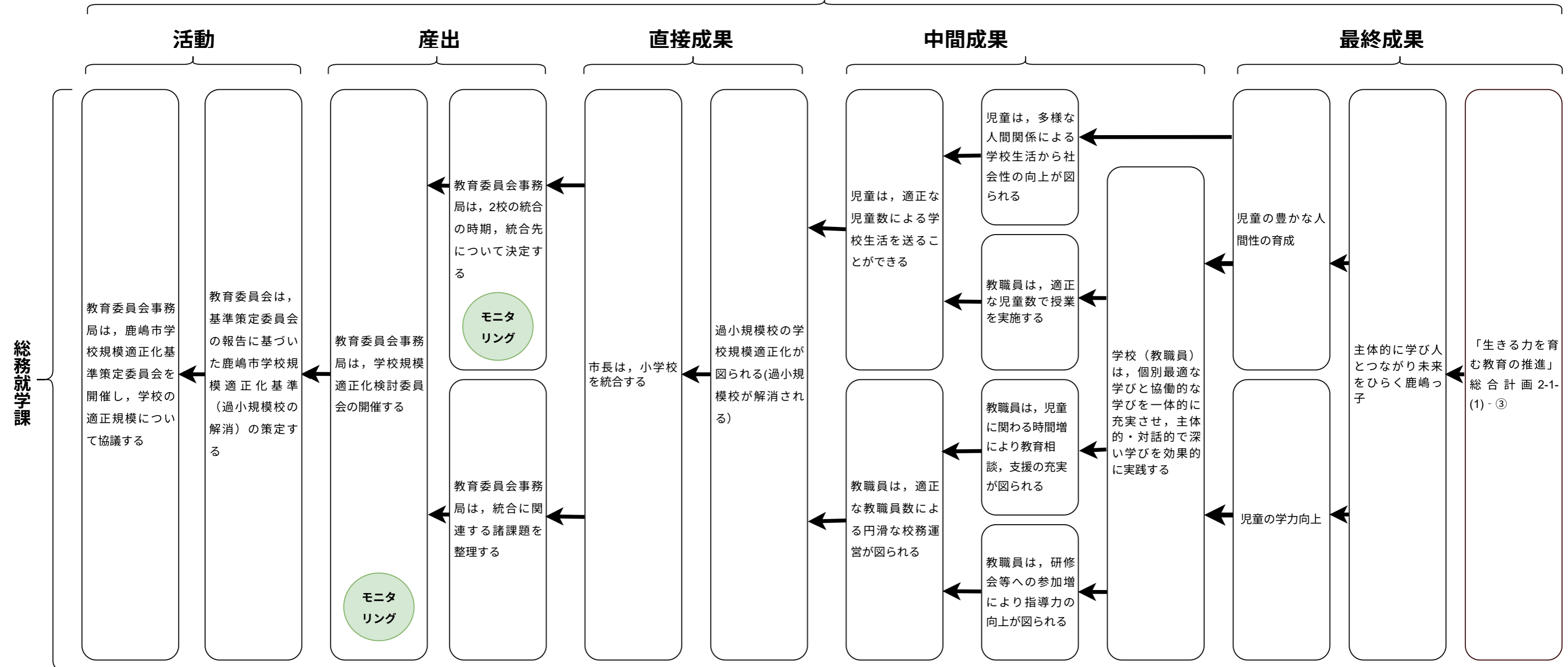
指標						
現状値	→	目標値	指標	2021年度末	現状値：2025年9月末	目標値
事業指標 (目標年度：2026年度)		年間要望件数	KPI	—	690件／6か月	1,300件／年

施策2-1 未来を担う人材「鹿嶋っ子」を育む

施策の方向性 (1) たくましく柔軟な子どもを育む学校教育

取組 ③生きる力を育む教育の推進【学校規模の適正化の推進・学校の統合】

事業成果



指 標				
現状値 ➡ 目標値		現状値	2025年度末	目標値
最終目標値	過小規模校の数	2校	2校	0校
モニタリング指標 (目標年度2025年度)	適正化検討委員会の開催(実施)回数	0回	4回/年	4回/年
	統合時期、統合先の決定	0校	2校	2校